

ETAPTIP – No. 005J

プロジェクトビュー：Part 4 - ライブラリ (Libraries)

適用できる ETAP のバージョン：7.5.2

(これら以前のバージョンでは、以下の説明手順とは多少異なることがあります。)

これは、ETAP TIP - No. 002aJ & 002bJ (Part 1 : プレゼンテーション)、No. 003aJ & 003bJ (Part 2 : 系統構成)、No. 004J (Part 3 : スタディケース)の続きです。

この説明の理解を深めるために、ETAP プログラムを立ち上げ、C:\ETAP 75X JP\Example-ANSI フォルダにあるプロジェクトファイル “Example-ANSI (ja-JP).OTI” を開いて下さい。(ここで C: は ETAP プログラムをインストールしたドライブ、ETAP75X JP は ETAP のバージョンです。)

ツールバーの配置・構成等については、ETAPTIP – No. 003aJ の “ツールバーマップ” を参照下さい。

4. ライブラリ

“プロジェクトビュー” の “ライブラリ” フォルダの右側に、現在使用しているプロジェクトのライブラリファイルのパスとライブラリ名が表示されます。“ライブラリ” フォルダのサブフォルダには、ライブラリに含まれているエレメントやデバイス名が表示されています。 図1参照

言い換えれば、“ライブラリ” フォルダは、このプロジェクトで現在使用しているライブラリファイルを表示します。

注記： ETAP では、各々のプロジェクトで同時に使えるライブラリファイルは一つです。

“ライブラリ” フォルダ を右クリックすることにより、下記のコマンドを実行することができます。

開く (Open)

現在 ETAP プロジェクトで使用しているライブラリと別のライブラリファイルを開きます。

(いま使用しているライブラリを切り離しても良いかと聞いてきますので、良ければ「はい」をクリックして作業を続行します。)

保存 (Save)

現在使用中しているライブラリファイルのデータの変更を保存します。

名前をつけて保存 (Save as)

現在使用中しているライブラリファイルを、新しいファイル名を付けて保存します (パスと新しいファイル名を指定します)。

作成 (Create)

新しいライブラリファイルを作成します。

(いま使用しているライブラリを切り離しても良いかと聞いてきますので、良ければ「はい」をクリックして作業を続行します。)

コピー/マージ (Copy/Merge)

あるライブラリファイルのデータと他のライブラリファイルのデータをマージ (併合) します。

消去 (Purge)

現在使用中しているライブラリファイルの全てのデータを削除します。

上記コマンドは “メインメニュー” バーの “ライブラリ” メニューからも同様に実行することができます。

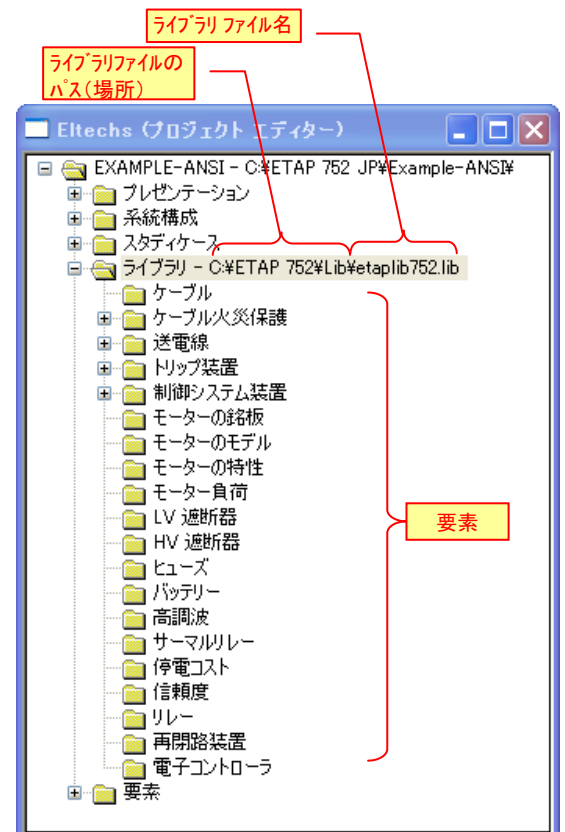


図1：プロジェクトビュー (ライブラリ)

“ケーブル”、“ケーブル火災保護”、“送電線”等のサブフォルダは、特定のエレメントやデバイスの個々のライブラリです。サブフォルダ名はそれに含まれるエレメントやデバイスを表しています。図2参照

“サブフォルダ”を右クリックすることにより、下記のコマンドを実行することができます。

表示 (View)

ライブラリが開き、そのライブラリの内容（編集、追加、削除、コピー等）の操作をすることができます。

消去 (Purge)

選択したライブラリ(サブフォルダ)の全ての内容を削除します。

注記：

いくつかのサブフォルダには、さらにその下のサブフォルダが含まれています。(例えば、“トリップ装置”には4つのサブフォルダ“モータ回路保護”、“静止型”、“電気機械式”、“熱磁気式”が含まれています。)この場合、一番下のサブフォルダを右クリックすることにより、上記の“表示および消去”コマンドを実行することができます。

“メインメニュー”バーにある“ライブラリ”メニューをクリックして、ライブラリ要素(ケーブル、ケーブル火災保護等)の一つを選択すると、上記“表示”と同様の操作をすることができます。図3参照

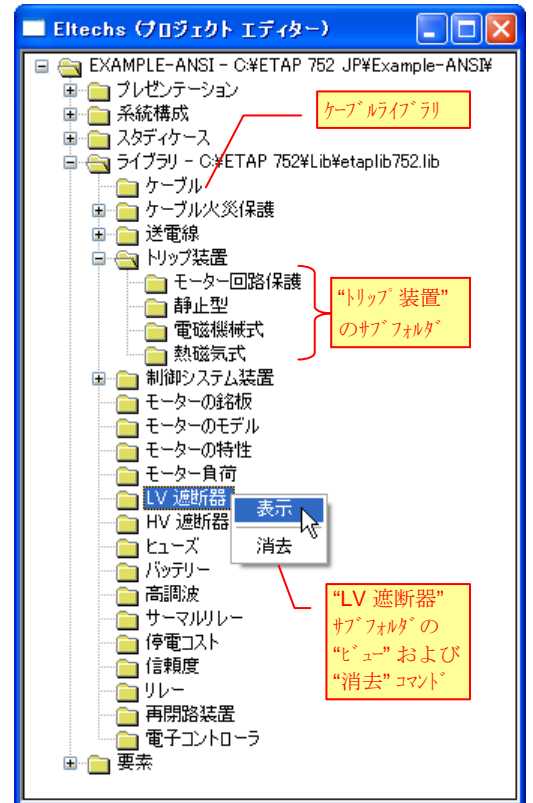


図2：ライブラリのサブフォルダ

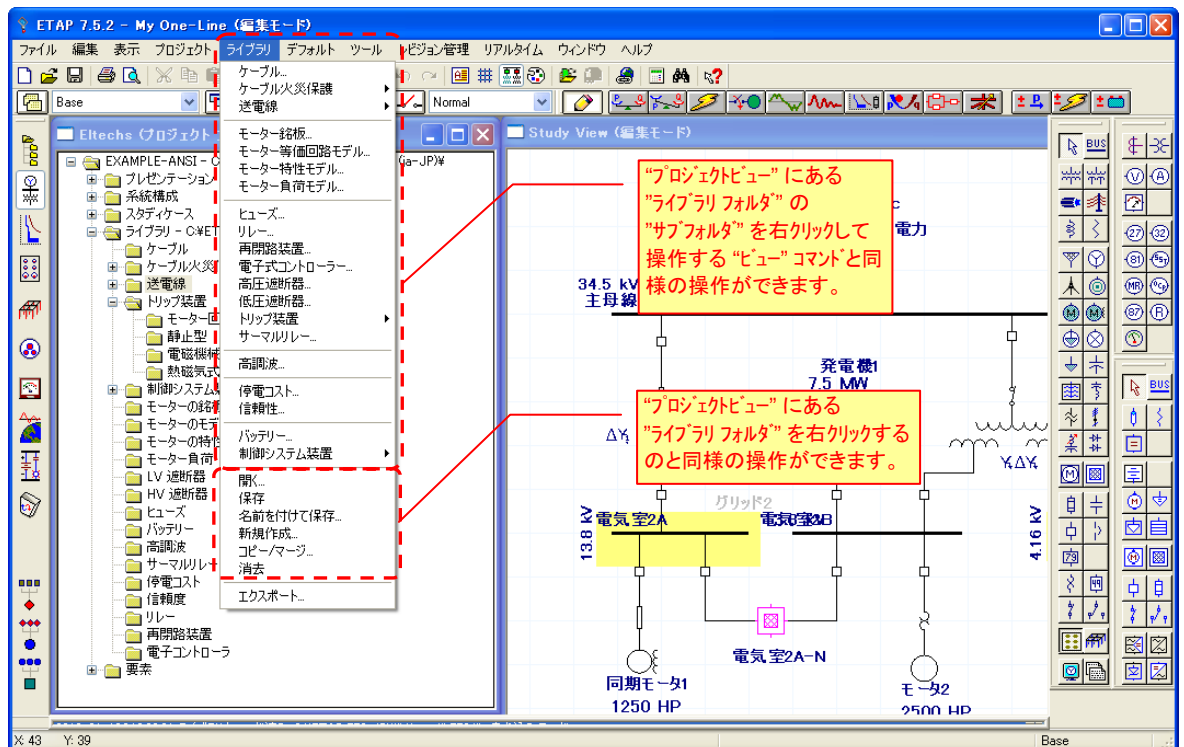


図3：“メインメニュー”バーの“ライブラリ”メニューからの操作